



調布市立多摩川小学校 学校だより 9月号

多摩川

令和4年8月29日

調布市立多摩川小学校 校長 上杉 潤

TEL. 042-481-7648

FAX. 042-499-4183

<https://www.chofu-schools.jp/tamagawa-sho/>



立場と役割と主体的な取組と

校長 上杉 潤

2学期が始まりました。1学期以上に、子どもたちが主体的に活躍してくれることを楽しみにしています。

今年度の夏季水泳は、「卒業するまでに、子どもたちを25m泳げるようにしたい」という想いで実施しました。実施できたのは2日間、延べ38名の参加があり、全員泳力を伸ばすことができました。さらに、6名は25mを泳ぐことができるようになりました。練習中に「校長先生、3回25m泳げました。」と報告してくれた子どもがいました。これは、「1回ではまぐれかもしれないから、もう1回挑戦しよう。」と、指導者からの一言があったからでしょう。（もし泳げなかったら、自信をなくしてしまうから、1回でいいのに……これは、杞憂に過ぎませんでした。）このときの子どもと先生の笑顔が忘れられません。それは、立場が違ってもゴールが同じで、やり遂げた達成感で輝いていたからです。子どもたちは、泳げるようになりたいと必死に努力しました。先生たちは、2、3名の子どもを担当し、1時間の指導を任されたのですから、きっと、泳げるようにさせたいと必死だったはず。「令和の多摩川小学校」が目指すものはここに 있습니다。目標や目標を達成するための取組は、主体的であったか。その活動を通して、自己有用感を高められたか。今年度は、子どもたちと教職員の主体性を伸ばし、自己有用感を高めることが、学校経営の柱です。そんな一場面に出逢うことができました。

開放運営委員会主催の「開放プール」は、6日間、延べ503名の出席で行われました。各日、監視員3名、開放協力者2～4名体制でアルコール消毒や密を避ける配慮を行い、安全で楽しいプールになりました。授業とは違い、浮き輪でプカプカ浮かびながら楽しんでいる姿は、子どもたちが望んでいるプールとの関りなのかもしれないと感じました。ご尽力いただいた皆様、ありがとうございました。

どちらも「子どもたちのため」の取組です。学校は、水泳に対して指導と支援を位置づけました。開放運営委員会は、子どもたちを楽しませることに重点を置きました。それぞれの取組が結果として、多くの子どもたちのニーズに応えることにつながったのではないかと思います。当然、保護者の皆様のご理解とご協力が前提となりますので、これからも保護者・地域・学校が連携を図りながら、それぞれの立場で役割を認識し、子どもたちを支援していけることを願っています。

子どもたちの健やかな成長のために、学校は日々の指導を充実させます。また、皆様と連携を密にし、学校教育に対するご理解とご支援をいただけるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

令和4年度 学習発表会について

今年度の学習発表会は、「子どもたちの表現力を伸ばす」ことに主眼を置き、学習の成果を体育館の舞台上で発表する機会とさせていただきます。「令和の多摩川小学校」の新しい取組にご理解とご協力をお願いいたします。実施日：11月19日（土）各学年20分程度 内容：音楽・朗読劇・寸劇など

詳細につきましては、改めて各学年からお伝えします。

【担当】特活主任 山岡 真由美

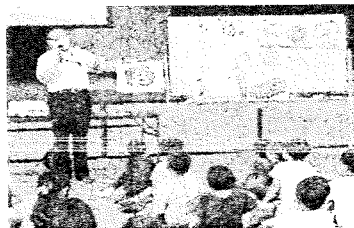
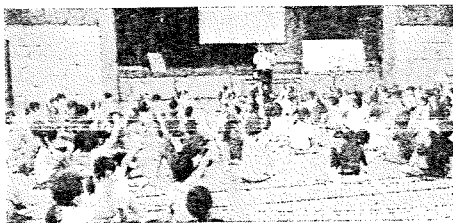
セーフティ教室について

子どもたちの安全のために、「セーフティ教室」を実施しています。これは、調布警察署職員をゲスト・ティーチャーにお招きし、「世の中の犯罪等の状況を知り、安全に対する意識を高めるとともに、自分を守る方法について学ぶ」ことをねらいとした授業です。本来であれば、保護者の皆様にも参観・出席していただき、子どもも大人も安全に関する意識を高めたいのですが、今年度は子どもたちの授業のみ実施しました。7月4日に行った1年生と4年生の学びの様子をお伝えします。ご家庭でも、日常の安全につきまして再度ご確認くださいませようよろしくお願いします。

1年生の様子 【不審者対応】

「いかのおすし」は、不審者に対してとるべき行動を表した言葉です。子どもたちの中では、当たり前前の言葉になっていると思います。

動画を通して、遊ぶときに危険な場所や状況について学びました。子どもたちの反応はよく、積極的に意見も述べられました。知識として知っていたようですが、大切なことは、それを実践することです。あってはならないことですが、万が一の場合は、自分の身を自分で守れるように「いかのおすし」を実践できるように指導しました。



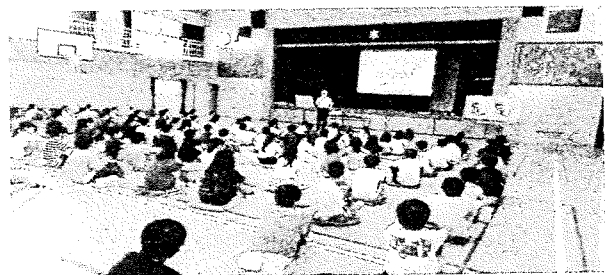
知らない人に
ついていかない
のらない
おしえない
すぐにげる
しらせる

4年生の様子 【非行防止】

世の中にはルールがあります。ルールを知らなければ失敗してしまいますので、まずはルールを知ること。そして、ルールを守るためにどうすればよいのかを学ぶことが大切です。「万引きは、子どもの成長過程で誰にでも起こり得るひとつの問題行動であり、特別なことではない。」と話す専門家もいます。さらに、中・高生の万引き件数が減少したことに対して、小学生の件数は増えてきているそうです。

授業では、「万引きとはどのような犯罪なのか。」「万引きをしたら、どうなるのか」「親や周りの人は、どう考えるのか。」について、映像や話をもとに、考える授業でした。

失敗から学ぶと言いますが、失敗してよいことと、悪いことの判断をすることも、この授業の大切なテーマになりました。



5年生の様子

高学年の仲間入り

高学年となり、委員会活動や運動会の係活動など、学校や行事を支える立場として活躍しています。最上級生である6年生をお手本としながらリーダーシップやフォロワーシップの勉強中です。学習内容も難しくなっていますが、一生懸命に頑張っています。

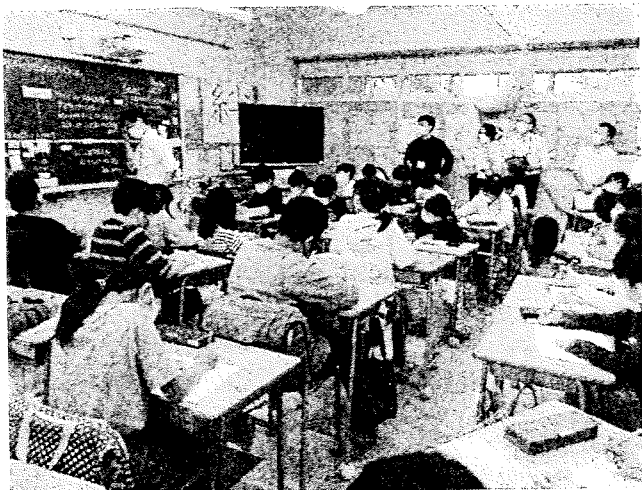
1学期の後半から、ハケ岳移動教室へ向けての係活動が始まりました。生活班や行動班での役割分担を通して、子どもたちの主体性を大切にしながら、責任ある行動や協力する態度を育てていきます。【5年担任 杉岡 奈々子】



ハケ岳移動教室のキャンプファイヤーのダンスを練習している様子です。実行委員が司会進行を行い、ダンスを覚えて学年全体に教えています。他にも、班長・保健・食事・美化・入浴・キャンプファイヤー・バスレク係に分かれてそれぞれ準備を進めています。

道徳授業地区公開講座について

道徳授業地区公開講座は、小・中学校等における道徳教育の充実を図る目的として、平成10年度から都内公立小・中学校等で開催されています。多摩川小学校でも、授業公開と兼ねて行っていましたが、ここ数年は新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、やむをえず授業公開を中止しておりました。今年度は、公開する予定であります。（感染状況に応じて、急に中止する可能性はあります。）お子さんが一生懸命考えているところをご参観いただきたいと思います。



道徳教育は、道徳の授業だけでは行うことができません。すべての教育活動はもちろんのこと、ご家庭でも行っていただく必要があります。この機会を通して本校の道徳教育の一端に触れていただくとともに、学校目標にある「思いやりのある子」を育てるために、今後更に連携を深めていければと思っています。

【研究主任 道徳教育推進教師 庄子 寛之】

8・9 月 の 行 事 予 定

◎はスクールカウンセラー来校日です。

8/29	月	始業式 B 時程 4 時間授業 委員会活動
30	火	B 時程 4 時間授業 計測 (若木)
31	水	給食開始 5 時間授業 計測 (1 年)
9/1	木	計測 (6 年) ◎
2	金	安全指導, 避難訓練, 計測 (4 年)
3	土	
4	日	
5	月	計測 (5 年) ◎
6	火	計測 (3 年)
7	水	計測 (2 年)、クラブ活動
8	木	◎
9	金	特別支援学校との交流 (6 年) 移動教室事前検診 (5 年) 2 年金曜 6 時間授業開始
10	土	
11	日	
12	月	ハケ岳移動教室① (5 年) ◎
13	火	ハケ岳移動教室② (5 年)
14	水	ハケ岳移動教室③ (5 年) 5 時間授業
15	木	◎
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	月曜時間割
21	水	5 時間授業
22	木	◎
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	◎
27	火	3 年火曜 6 時間授業開始
28	水	委員会活動 (後期始)
29	木	◎
30	金	移動教室事前検診 (6 年)

9 月 生 活 目 標

「きまりを守って生活しよう」

いよいよ 2 学期が始まりました。大勢の子どもたちが一緒に生活する学校では、お互いに気持ちよく生活するために、きまりを守り、相手の気持ちを考えて行動をすることが大切です。

きまりを守ることは安全に生活するためにも欠かせないことです。休み時間の校庭での遊び方、廊下の歩き方や教室での過ごし方など、きまりを守ることは、人を思いやることや自分や友達が安全に生活することにつながります。ご家庭でも改めて子どもたちと確認をしてみてください。

時計を見て行動することも少なかった夏休みと違い、今日からは時間を守って行動することがとても大切です。一人一人が意識をもち、気持ちよく新学期のスタートが切れるように指導していきます。

【生活指導 春日 弓子】

相談室より

夏休みが明け、長い 2 学期の始まりですね。夏休みが明けるのを心待ちにしていた人もいれば、休みが終わってがっかりだったり、久しぶりの学校生活に緊張したり、不安だったりという人もいると思います。

もし、「学校行きたくないな…」と言われたら、休ませていいものか、頑張って行っておいでと背中を押すべきか誰もが迷うと思います。そして、言い出した子どもだって言うかどうかはきっと迷ったはずです。迷ったときに一緒に迷い、考えてくれる人がいるのはとても心強いと思います。対応に正解はありません。ただ、様々なことを迷い、考え、導き出した結論に後悔は少ないと言われる。今は多くの選択肢があります。その子らしい道を歩めるようにご家庭も学校も一緒に知恵を出し合い、考えていきましょう。今学期もよろしくお願いいたします。

【都 SC 大武】

勤務予定 大武・・・月曜日 (9:00～16:45)
(月曜休日のため、水曜出勤の日も時間は同上)
米本・・・木曜日 (9:00～16:45)

※ご相談は相談室直通電話 042-481-5259

にお願いします。(不在時は留守電対応になります。お名前、ご連絡先を入れていただければ折り返し連絡いたします。)